



高鍋

議会だより

6月議会
No.146

高鍋消防団

部

しょう!!
火災警報器
消防署
火災予防
火災対策

正補

明倫保育園に放課後児童クラブ

2P

一般
賃貸

8人が登壇

5P~10P

正例
改

国保税減額

3P

活動
報告

第4連協 夏祭りで団結

12P

条例改正

国保税が安くなります

■高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について

- 国民健康保険税の税率等の改正を行うもので、1人当たり平均約1万円減 世帯当たりで平均1万9千円減になる。

所得割 1.25% 減
均等割 1人当たり 4,000円 減
平等割 1世帯当たり 2,000円 減



特定健診準備風景

■高鍋町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

- 全国的に保育士の確保が困難な状況となっているため、当面の間の措置として保育士配置基準や資格要件を緩和するもの。
併せて、建築基準法が改正されたことにより、所要の改正をあこなうもの。

平成28年 第2回定例会 可否表

○賛成 × 反対
(議長は表決に加わりません)

番号	件名	賛成	反対	池田	水町	山本	津曲	岩村	岩崎	青木	柏木	後藤	中村	黒木博	黒木正	春成	八代	緒方	永友
議案第36号	専決処分の承認を求ることについて(専決第1号) [高鍋町税条例等の一部改正について]	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第37号	専決処分の承認を求ることについて(専決第2号) [高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について]	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第38号	専決処分の承認を求ることについて(専決第3号) [西都児湯固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について]	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第39号	高鍋町高鍋浄化センターの更新工事委託に関する基本協定について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第40号	高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第41号	高鍋町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第42号	平成28年度高鍋町一般会計補正予算(第1号)	13	2	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第43号	平成28年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

平成28年度
補正予算
補正額 1億5831万円

主な事業

総務費 (1354万円)

- ふるさと納税返礼品
- 庁舎非常用発電設備 基本設計実施設計 委託

商工費 (1385万円)

- 地域資源付加価値向上事業委託
(各種生産品の統一ブランド化で町外にアピール)

土木費 (4910万円)

- 放課後児童クラブ環境改善整備推進事業補助金
- 保育所等における業務効率化推進事業補助金
- 子どもの未来応援対策費

消防費 (3093万円)

衛生費・保健衛生費 (403万円)

- プール駐車場舗装工事
(健康づくりセンター)

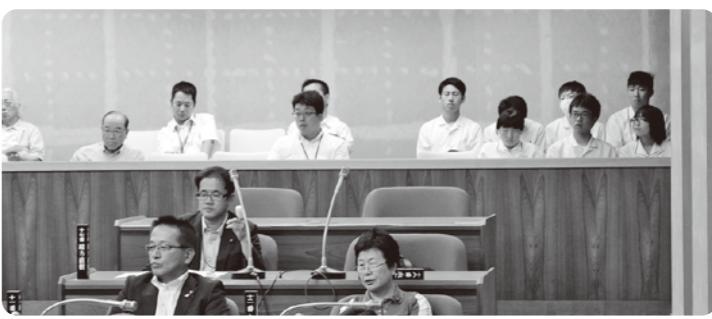
農林水産業費 (1403万円)

- 測量設計委託 (ため池の耐震)
- 彩りのむらづくり事業補助金

教育費 (1155万円)

- コミュニティ助成事業補助金
(南牛牧地区)
- 先進地図書館視察

18才選挙権年齢の引き下げにより、若者の政治への関心が高まり、高鍋農業高校の生徒会の皆さんのが議会傍聴に来られました。初めての傍聴はどうだったでしょうか。



6月定例議会が6月6日から15日までの10日間の会期で開かれました。今定例会では、8件の議案を審議をしました。一般会計予算は1億5831万円を追加し、78億5331万円となりました。

委員会質疑

文教福祉

ひとり親世帯である。

また具体的な事業内容と将来はどのようになるのか。

子どもの人数に対して保育園等は足りているのか。現在は保育園、認定こども園があり、小規模事業所が開園したことで保護者の選択の幅が広がる。

図書館費の旅費についての視察場所、人數、また目的は。

長野県小布施町立図書館に、5名の参加で先進的な図書館を視察する。

「学校集団アセスメントQ-1」はどういう取り組みか。

全国的に小中学校で実施されていいる、簡単な質問形式のもので、分析結果を受けていじめ等問題の早期発見につなげていく。

給食センターの電話機更新工事請負費の内訳は。

20年以上経過した中心装置が故障しており、メインになる装置と電話機4台の交換、回線を光ケーブルに換える工事費である。

子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業で支援体制の構築があるが、子どもの貧困の定義は、また高鍋町の実態は。

可処分所得の中間数値の半分の12.2万円以下の世帯をいい、町内では約2%、162世帯あり、その内約6割が18歳以下の子どもを扶養している。

国民健康保険税は繰越金を活用すれば、もつと引き下げるのでは。

毎年、保険税が大きく変動すると被保険者の大きな負担となるため。

本年度は95%の収入を見込んでいるが、27年後の収納率は95・14・27%である。



新設の東小校区放課後児童クラブ

般質問

特別委員会

なでしこバスの利用者は増えている

なでしこバスについて前回尋ねたときに、利用者が増えていた。

町長 27年度の利用者は7707人で、レストラン休業の前年度に比べ205人の増である。

政策推進課長 満足とかそういうことでなでしこバスの利用者が何人くらいか。バス路線は4路線あり。竹嶋線が一番多い。1台あたりの利用者は現在計算していない。

政策推進課長 現在バス1台が減少した理由のひとつに温泉のレストランの閉鎖を上げられたが、再開後増えたのか。

政策推進課長 24年以降、アンケートをとっている。温泉利用者にとっては福音と思つて、病院や買い物のために利用したいという要望はないのか。



あなたの声を町政に

本町では一問一答方式の一般質問です。議員ひとりの持ち時間は30分です。今回は8人が行いました。一般質問の全内容は後日、町のホームページから閲覧することができます。

政策推進課長 宮交の営業所と結束している。そこで降りられる方は病院や買い物に行かれていると思っていれる。

政策推進課長 川南町のトロントロンバスはアンケートをよく取つてある。利用者の要望に対応されている印象がある。アンケートは取つておられるか。

政策推進課長 利用者の二つは、それがそのままに変わらないと考え、取つてない。

政策推進課長 近ごろ高齢者による交通事故が増えてきたと聞いている。返上のメリットとしてはいろいろなものがあるが、町独自では行なっていない。

意見 なでしこバスがあるだけでいいが、利用者が少ないようだと思う。もっと多くの方が利用され



岩崎信也議員

町長 当初の目的は1万1千人であったと聞いている。この数字は想定内といふが、満足できる値か。

政策推進課長 温泉利用者にとっては福音と思つて、病院や買い物のために利用したいという要望はないのか。

政策推進課長 24年以降、アンケートをとらう理由は。

政策推進課長 年度にかけては、利用者が少ないので、利用者が少ない。

意見 なでしこバスがあるだけでいいが、利用者が少ないようだと思う。もっと多くの方が利用され

総務環境

個別受信機の申請は、公民館単位で行わないのか。お知らせ高鍋、チラシによる事業開始の周知を行い、申請については個人で行う。

ふるさと納税は、どうなつているのか。

現在のふるさとチョイスとは別に、楽天にも窓口案内を設けたい。また、返礼品の種類については、22品目から27品目に増加した。

地方創生加速化交付金については、どうなつているのか。

社会資本整備総合交付金の要求額は1億2千5百万円で7190万の内示である。

舞鶴団地駐車料金は。持田団地同等を考えている。

東光寺・鬼ヶ久保線の土地購入について。宅地で面積は840m²で、所有者は2人である。

高鍋学のすゝめを多言語化したパンフレット2万部を印刷するが、多言語とは何ヶ国語か。

中国語（広東語・北京語）、韓国語、英語の4か国語である。

パンフレットの配布部数、配布先、在庫は。



増えたふるさと納税返礼品

二次募集に申請しているが、100%の交付があるとは限らない。

なぜ図書館建設なのか 意識調査による

決められたのか。

町長 平成25年度に実施した、町立図書館の今後の在り方についての意識調査の結果であり、不満や不満の割合が半数を超えていた。

社会教員 平成25年、総合計画作成のために2千人を対象に行い、回収は790人図書館では75人回収している。

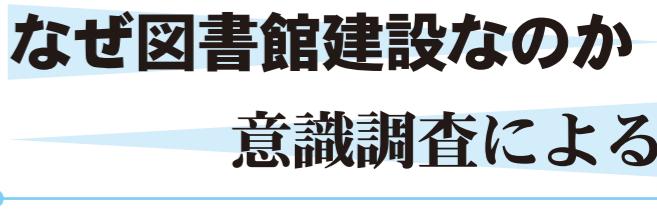
高鍋駅舎の改修及び周辺整備について

改修は未定

受けた自治体はない。

町長 契約は平成29年3月となつてから、今後の運営について伺う。

問 「たかなべ町屋本店」の賃貸契約と今後の運営について伺う。



教育長 平成27年度実績は、13万1289冊である。現在の図書館は年間何冊か。

副町長 参加しているのは記憶がない。記憶が無い。

黒木正建議員 それで美術館建設の経緯はどうであったか。

問 その後、防犯灯の設置多発しており照明灯の設置を訴えてきたが、その後の対応を伺う。

町長 検討していく。差点は事故が多発しており照明灯の設置を訴えてきたが、その後の対応を伺う。



問 3月議会で図書館建設を5年以内にと言わされたが、このような方針をいつ

教育長 対象とした中で、学業、文献を広めることが目標であるが、その意向は今に活かされているのか。

副町長 は3名であり、建設反対署名が7800人ありながら、提出されず建設が強行されたといふものである。

町長 改修（4年前の選挙公約）についての進捗状況を伺う。

町長 付加機能や財源等について協議中であるが、具体的な時期については未定である。

町長 手すり等の取り付け、段差の解消等6種類で71件の申請となつていて改修工事についての居宅介護住宅改修工事についての申請件数を伺う。



柿原氏ゆかりの図書館

移住・定住促進の対策は必要な取組みを進めて行く

問 本町の人口減少は課題の一つかであるが、その中で、移住人口増による活性化対策は。

町長 町の魅力を創出し、この町に住みたい、住み続けてもらうために、必要な取り組みを進めて行く。

町長 今まで財政的にそこまで踏み入っていないが、今後、創って行きたいと思っている。

町長 今後検討課題として考えている。

意見 自然災害が何の予期も準備もなく、それまでの日常生活が一瞬にして断ち切られ、生命や財産が突然失われる。この教訓を再び学んだ私は

応、消費増税・安保関連法案・原発等への町長、教育長の私見を求める質問をしました。

町長 送迎者等による駅利用の混雑解消について伺う。

町長 地方創生交付事業の対象となるが、その対応について伺う。

町長 手すり等の取り付け、段差の解消等6種類で71件の申請となつていて改修工事についての申請件数を伺う。



青木善明議員

問 定住・移住政策の中に、他町村は家の新築に高額な補助制度が魅力になっている。先行投資の政策で家を建ていただき、みんな

問 地域住民からの要望もあり、利用者も多く、その必要性を含め、今後、設置の効果が高いと思われる公園から順次、年次的に設置計画を検討する考えは。



時計台の設置を

町長 今年の地震の教訓を捉えた防災対策の備えは。

教育長 学生の公園利用の利用者等の要望に応じて町長及び担当課と協議していきたい。

意見 自然災害が何の予期も準備もなく、それまでの日常生活が一瞬にして断ち切られ、生命や財産が突然失われる。この教訓を再び学んだ私は

町長 ちは、日々の生活の中で生きて活かされる人間として、尊い命を無駄にしてはならないとかみしめさせて頂きました。

町長 は対応期間の短縮が問題としているが、高鍋の現状を伺う。

町長 は対応期間の短縮が問題としているが、高鍋の現状を伺う。

健康保健課長 地域包括支援センターと連携を密にし、スピード

町長 今回の地震でことなどを調査・分析し、今後更なる事前防災や減災対策に取り組む必要があると考えている。

町長 問題となつたことなどを調査・分析し、今後更なる事前防災や減災対策に取り組む必要があると考えている。

町長 契約は平成29年3月となつてから、今後の運営について伺う。